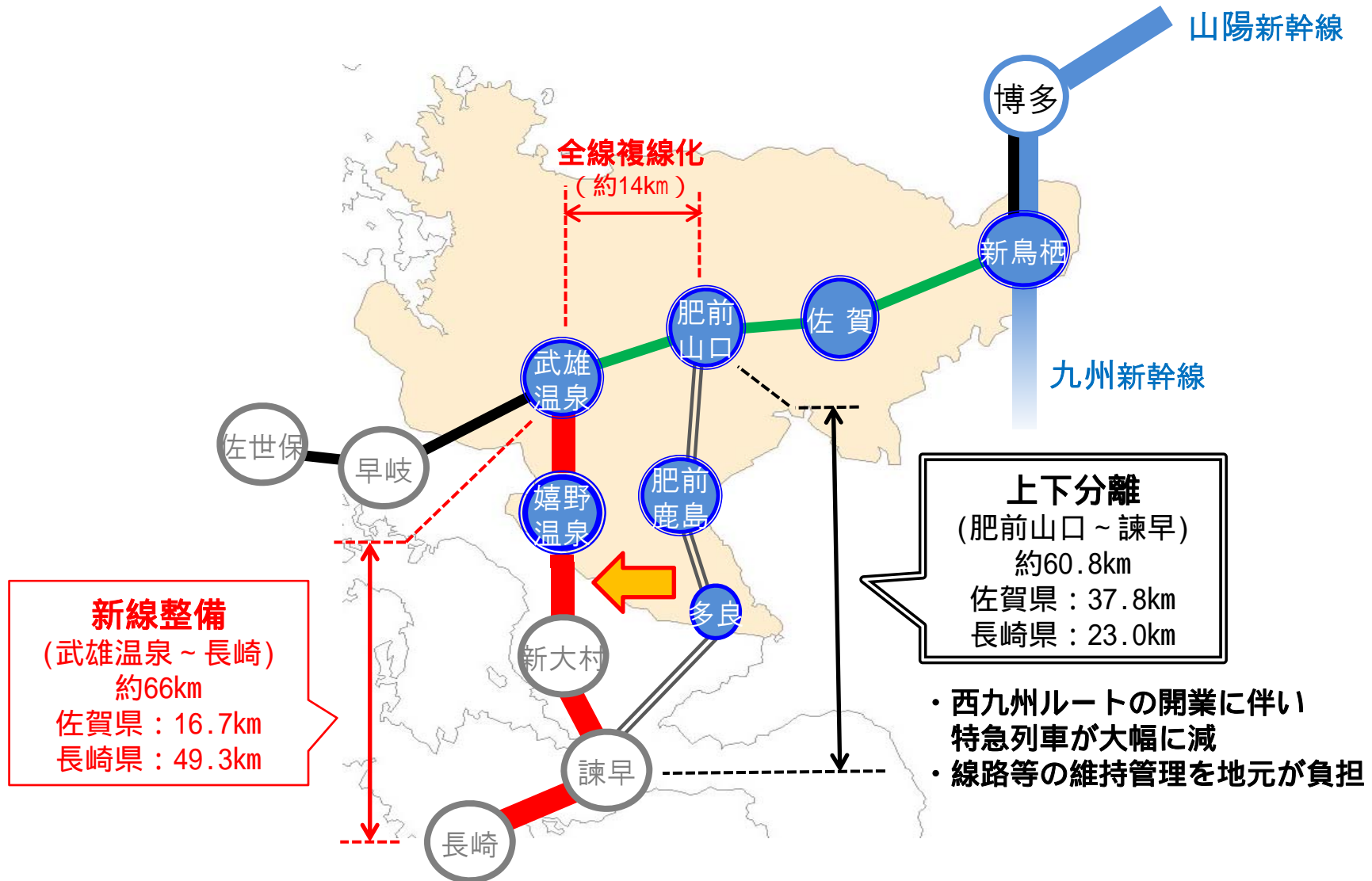


与党 整備新幹線建設推進プロジェクトチーム
九州新幹線（西九州ルート）検討委員会
ヒアリング資料

平成31年4月26日

佐賀県がギリギリ合意してきたのは、武雄温泉～長崎間の新線整備 + 新鳥栖～武雄温泉間は在来線を利用すること



(参考) 西九州ルート of 経緯

- 昭和60年 1月 日本国有鉄道が博多～長崎間（早岐経由）ルートを公表
- 平成 4年11月 九州新幹線（長崎ルート）建設促進連絡協議会申し合わせ
（福岡県、佐賀県、長崎県、鉄建公団、JR九州、九州山口経済連合会）
- ・九州新幹線（長崎ルート）は、従来のいわゆるアセスルートを変更して福岡市から武雄市までは在来線を活用し、武雄市から長崎市までは建設路線の延長を極力短縮しつつ新幹線規格新線を建設して、スーパー特急を運行させる
- 平成 8年11月 JR九州が並行在来線（肥前山口～諫早間）の経営分離を表明
佐賀県を二分するような激しい議論に
- 平成16年12月 政府・与党申し合わせ
- ・武雄温泉～諫早間について、調整が整った場合には、着工する
 - ・その際、軌間可変電車方式（フリーゲージトレイン）による整備を目指す
- 平成19年12月 三者基本合意（佐賀県、長崎県、JR九州）
- ・JR九州が肥前山口～諫早間全区間を上下分離方式により運行する等
- 平成20年 3月 武雄温泉～諫早間着工認可（スーパー特急方式）
- 平成24年 6月 武雄温泉～長崎間着工認可（フリーゲージトレイン）
- 平成28年 3月 九州新幹線（西九州ルート）の開業のあり方に係る合意
（与党検討員会、佐賀県、長崎県、JR九州、鉄道運輸機構、国土交通省）
- ・フリーゲージトレインの開発の遅れから、国から平成34（2022）年度に、武雄温泉駅での対面乗換方式で開業したいとの提案を受け、佐賀県として非常に厳しい状況の中、これを受け入れ六者合意を締結

新鳥栖～武雄温泉間について、佐賀県は新幹線整備を求めている

佐賀県は、これまで、新鳥栖～武雄温泉間について、新幹線整備を求めたことはなく、現在も求めている

新鳥栖～武雄温泉間は、全て佐賀県内の区間

地元負担を義務付けている整備新幹線において、地元自治体である佐賀県が新幹線整備を求めている中で前に進むことはあり得ない